

「地域課題分野」（平成28年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
生物化学の手法を活用した掘削土・刈草・除伐材の資源化技術開発	石巻専修大学 玉置 仁	B
<研究概要> 河道掘削により発生した掘削土，維持管理で発生した除伐材等の処理費軽減のため，掘削土と除伐材などを混合し，生物化学的手法を用いて，資源としての園芸用土（以下，作土）に再生させる手法を開発することを目的とした。 掘削土の土壌構造に基づく改質点の抽出，含水比を指標とした効果的な掘削土の細粒化手法，粒度調整された掘削土と除伐材チップ等とを混合させた土壌に海藻由来の粘質多糖類の添加や土壌微生物などの植種による作土への改質効果を疑似現場実験と現地検証実験において検討した。		
<事後評価指摘事項> リサイクルの道筋をつけており、「現地－プラント－農地－海藻アラメの供給源」間の輸送が経済性を左右することが把握され、研究目的は概ね達成している。 しかしながら、社会実装という面での経済性には、未検討の部分が残っていることや、掘削土の質的变化に対する対応について最終年度の成果にも入れて欲しい。 今後は、こうした技術を農業に使用する際の安全衛生面での研究が期待される。		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
 B：一定の研究成果があった。
 C：研究成果があったとはいえない。